

『さっきゃま魂』

R4. 9. 1 第7号

発行人：校長 中山 末永

意識しながら努力

42日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期のスタートです。「夏休みが終わってしまった。」という悲しい気持ち、「2学期も頑張るぞ!」というやる気満々の気持ち等、それぞれがいろんなことを思いながら、9月1日を迎えたことでしょう。

「長い2学期」と言われますが、1学期より6日間だけ長い2学期です。運動会・学習発表会などの大きな行事も計画されているので、きっとあっという間に終業式を迎えることになるでしょう。そう考えると、1日1日の過ごし方がとても大切になってきます。

そこで、始業式では、次のような話をしました。

『アメリカ大リーグで活躍している大谷選手。ピッチャー・バッターの二刀流として数々の偉業を達成している。選手としての活躍もすごいが、グラウンドのゴミを拾う姿を見てさすがだなあと思う。自分の立てた目標達成のために、地道に取り組む姿からは多くのことを学ぶことができる。大谷選手にとって「ゴミを拾うこと」は、特別なことではなく当たり前なこと。この2学期の間に、崎小の子どもとして「当たり前」にできることを一つでも増やすことができたら嬉しい。』

「にこにこ挨拶」「はきはき返事」「もくもく掃除」など、目標とする姿を常に意識し、それを地道に繰り返していくことで、「できなかったことが、できるようになった。」と自信をもって言える2学期にしたいと考えています。

第2学期 重点指導事項 ～意識しながら努力すること～

1学期の学校評価をもとに成果と課題を分析し、2学期の「重点指導事項」を設定しました。全部で16項目ありますが、保護者の皆様にもご理解・ご協力いただきたいことが次の3つの取組です。

【自主】いつでも・どこでも・誰にでも、自分から進んで挨拶・返事をする。

学校では、「にこにこ挨拶」「はきはき返事」を合言葉にして取り組んでいます。その日の気分や個人差もあり、なかなか改善できない状況です。そこで、2学期は意識して取り組む場面を絞り込みました。【挨拶：まずは、朝の挨拶を元気よく!】【返事：まずは、指名後の返事をはっきりと!】この2点に意識して取り組むことで、他の場面にも良い影響を与えるのではないかと思います。

【友愛】困っている友達を見逃さず、思いやりの心をもって優しく接する。

小規模校ということもあり、学年関係なく仲良く過ごす姿が見られますが、時々気になる言葉や乱暴な口調を耳にすることがあります。使っている本人には、悪気はないのかもしれませんが、言葉をかけられた友達は嫌な気持ちになることがあります。より良い友達関係を築くために大切にしたいのが「ふわふわ言葉」です。友達から言われて嬉しくなる言葉を、みんなが遣うことができれば、きっと優しい心が育っていくと考えています。

【家庭生活】家庭学習（宿題・自主学習）の習慣化を図る。

各種調査結果から、「長崎県の子どもは、家庭学習の時間が短い。」という課題が明らかになってきました。そこで、毎日、家庭学習に取り組むために、全校共通の課題（国語：音読・漢字 算数：練習問題）を設定しました。これは、各教科の知識・技能を確実に習得するために反復して取り組む学習です。自主学習については、各学年の発達段階を考慮しながら指導していきます。学習時間の目安は、低学年（20～40分） 中学年（40～60分） 高学年（60～90分）です。

習慣化のためには、「毎日、同じように繰り返すこと」が重要だと考えています。下校後の家庭での過ごし方を工夫し、自分にぴったりの時間帯や場所を決めて取り組んでほしいと思います。

学校と家庭の意識した取組で、子ども達をより良く成長させたいと考えています。